

〈ミニシンポジウム〉

開放的な砂浜海岸における水産生物と環境
-吹上浜をモデルとした生態研究-

日時・場所	平成20年3月27日 13:00~16:00 第8会場(8号館)
企画責任者	須田有輔(水大校)・大富 潤(鹿大水)・早川康博(水大校)
13:00~13:05	開会の挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・須田有輔(水大校) 座長 大富 潤(鹿大水)
13:05~13:30	1. 吹上浜の研究の背景と概要・・・・・・・・須田有輔(水大校)
13:30~13:55	2. 吹上浜の水質環境と砂浜地下水からの栄養塩供給 ・・・・・・・・・・・・・・・・早川康博(水大校)
13:55~14:20	3. 吹上浜の魚類 -魚類群集の構造は砂浜タイプによって異なるのか- ・・・・・・・・・・・・・・・・中根幸則(東大院農) 座長 林崎健一(北里大水)
14:30~14:55	4. 半閉鎖的内湾の砂質干潟における生物と環境 -比較研究として- ・・・・・・・・・・・・・・・・大富 潤(鹿大水)
14:55~15:20	5. 吹上浜の物理環境と砂浜の形成要因・・西 隆一郎(鹿大水)
15:25~15:55	総合討論 座長 須田有輔(水大校) 佐野光彦(東大院農) 林崎健一(北里大水)
15:55~16:00	閉会の挨拶 早川康博(水大校)

企画の趣旨

外海に面した開放的な砂浜海岸の水産生物の生息場は、海岸侵食や開発の影響により急速に失われつつある。そのような開放的な砂浜海岸の環境保全と修復を図るうえで、生態系に関する知見を集積する必要がある。本ミニシンポジウムでは、従来から鹿児島県の吹上浜で行われている砂浜生態系に関する共同研究の成果を中心に報告し、水産生物の生息場としての開放的な砂浜海岸の意義や保全のあり方を考えるきっかけとした。